

観月茶会

中秋の名月

旧藏内邸

令和7年

10月6日

17:00 ~ 21:00

[築城飛行場関連再編関連特別事業]

国指定名勝 旧藏内邸

福岡県築上郡築上町上深野 396

*茶席はすべて椅子席です。お気軽にご参加ください。

茶席 (公財)小笠原流煎茶道 九州総支部

ぎょくろ
玉露茶席(菓子付) 限定 60席

一般 1,500円 小中学生 1,300円 *入場料込

● 第1席 17:00~ (15席) ● 第2席 17:45~ (15席) ● 第3席 18:30~ (15席) ● 第4席 19:15~ (15席)

前売券、電話での事前予約は旧藏内邸まで (8月21日(木)9時30分より受付開始)

*ご希望の席と時間をお選びください。

国指定名勝 旧藏内邸 TEL 0930-52-2530 (FAX兼)

主催 / 築上町教育委員会 協力 / (公財)小笠原流煎茶道 九州総支部

せんちゃ 煎茶とは

むいしぜん 無為自然の境地

茶の湯(抹茶)は禅宗との強い結びつきから全国に広がり、室町時代以降、武家の権力者に取り入れられました。四畳半の狭い茶室はしばしば密談の場としても使用されました。

一方、煎茶は、中国の老荘思想(無為自然 / 人の手を加えずありのままの自然を受け入れる生き方)に強く影響され、江戸時代の文人(風雅を好み詩文等に秀でた人)が中国の茶の文化を基に作り上げました。当初は室内ではなく、大自然の懐の中、清風の吹く戸外で喫茶を楽しむことから始まりました。南画家、田能村竹田(1777-1835)も『竹田荘茶説』で「同人相会し、山に登り水に臨み、詩を論じ画を評する時の一助とす」と、当時の煎茶の様子を記しています。

中国で唐時代(8世紀)に書かれた茶に関する書籍『茶経』には、美味しく香りの良い茶は三杯までとされ、医師で煎茶道小川流の創始者、小川可進(1786-1855)の『喫茶弁』には、「初碗、香を賞し、二碗、味を賞し、三碗、その茶を賞す。ただ湯水の如く呑飲して、争か茶味を知ることを得んや」と三つの異なる茶味に言及しています。

旧藏内邸と煎茶 随所に見られる煎茶趣味

大正時代、旧藏内邸の増改築を指揮した当主の藏内保房(1863-1921)は田能村竹田の文人画と煎茶をこよなく愛し、邸宅意匠の至る所に煎茶趣味が見られます。

大玄関や茶室、座敷、大広間奥の脱衣所には「踏込床」という床の間が見られます。踏込床は上面に畳を敷かず、一枚板のみで床框がなく、畳の面と床板の面が同じ高さにあるものをいいますが、この踏込床は煎茶の茶室で特に好まれました。また、煎茶の茶会では文机に筆・硯・紙・墨等の文房具を飾る「文房飾り」や、珍しい果物や野菜を飾りその色彩や形を楽しむ「果物飾り」がありますが、座敷棟の天袋に描かれた四季の果物はまさに「果物飾り」を表したものです。ほかにも中国的な丸窓なども煎茶趣味といえるでしょう。

前述したとおり、煎茶は当初、大自然の中で喫茶を楽しむことから始まりました。そのため、煎茶の影響を受けた庭園は「遠景に山を、近景に川のある環境を選び、それを眺望し、また庭園には清水を感じさせる流れをつくり、建築と庭園が一体となった開放的な空間を有する」といわれます。(霊鷲弘義2007「近代日本庭園における煎茶の影響」より)

大広間奥の脱衣所は部屋の造りは煎茶室で、面する庭園も庭外の山を眺望し、庭内には枯流れで清水を感じる流れを設けています。また、大玄関の受付室横の中庭には、主屋の下を流れる農業用水を用いた降り蹲踞的な水汲場があり、大広間の裏庭にも泉のような石組があります。いずれも清水を理想とした煎茶の美意識による影響と考えられます。

せんちゃてまえ おがさわらりゅうせんちゃどう 煎茶点前 小笠原流煎茶道

小笠原流は小笠原家初代当主、小笠原長清(1162-1242)の父で、甲斐源氏の一族、加賀美遠光(1143-1230)以来の作法とされています。鎌倉幕府の歴代将軍に仕え、公達の儀式などを取り仕切って以来、それらの礼法を今に伝えています。

近世に喫茶の習慣は浸透しましたが、混迷する人心を憂えた小笠原長生(1867-1958)をはじめとする政界人が協議し、礼法に喫茶を取り入れ創流しました。

平成3年(1991)、財団法人煎茶道小笠原瑞峰庵が設立され、平成24年(2012)、公益財団法人小笠原流煎茶道に移行しました。

基本理念は「和敬清閑」。「和を悟り、尊敬と信頼を深め、常に公平で、誠意に満ちた清い心と肉体的、精神的にもゆとりを持つ」という先人から受け継いだ教えを後世へつなぎ、日々煎茶道文化の保存と伝承に努めています。



田園と山に囲まれた旧藏内邸



庭園は農業用水を取り込み、清水を感じさせる流れ



踏込床(左端)のある煎茶室



天袋絵「果物飾り」(狩野厚信筆 / 座敷棟)



大広間奥の脱衣所(踏込床のある煎茶室で、面する庭園は枯流れ)



降り蹲踞のような水汲場(受付室横)と泉石組(大広間裏庭)